

名田島地域

名田島自治会連合会

★活動の概要

平成22年4月に、地域づくり協議会の性格を融合した新たな組織として、「名田島自治会連合会」を再スタートし、活発な活動を展開しています。

★交付金額

6,016,387円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	1,496人
世帯数	556世帯
地域の キャッチフレーズ	みどりの名田島

※数値は、平成23年3月31日現在のもの

■ 総務部会

地域の広報誌「田園」を2回発行するとともに、月例会議の協議内容を議事録として各戸に回覧しました。また、花いっぱい運動を盛り上げるため、育成用の肥料等を追加購入したほか、ふるさとまつり他各種イベントを支援する活動を展開しました。



ふるさとまつり



■ 健康福祉部会

3世代交流事業として、「どんど焼き」でついたお餅を、子どもたちが独居老人宅へ手紙を添えて配達し、地域のつながりを深めました。また、研修で資源循環センターを視察し、地産地消、食の安全安心を学びました。



部会の様子



■ 生活環境部会

地域からの要望書に基づいて、道路・水路の整備、草刈等の環境美化に取り組みました。



要望書に基づく現地調査



■ 生涯学習部会

名田島ふるさとめぐりマップの作成
(地域住民に史跡・名勝を知ってもらう)
(国体来県者にアピール)

マップで紹介した場所を探訪しやすくするため、看板の設置を計画しています。



■ 防災部会

昭和17年水害を教訓に毎年防災訓練を実施しています。

(避難訓練、炊き出し、「土のう」づくり、講演)



秋穂二島地域

秋穂二島地区連合自治会

★活動の概要

秋穂二島地区では、HOT 愛を二島(ほっとあいをふたじま)を理念に掲げ、地域づくりに取り組んでいます。

★交付金額

5, 276, 710円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	2, 658人
世帯数	1, 082世帯
地域の キャッチフレーズ	HOT 愛を二島

※数値は、平成23年3月31日現在のもの

■ HOT 愛を二島コンサート

地区民の情操を養ってもらうことを目的に、山口芸術短期大学から演奏者をお招きし、二島小学校体育館でコンサートを開催しました。

迫力ある生演奏に来場者は感動され、たいへん好評でしたので、引き続き来年度も継続していくこととします。

来年度は、事前の広報・宣伝活動にも力を入れ、集客力をアップし、さらに盛り上げていきたいと考えています。



■ 地産地消 B 級グルメコンテスト

もっと地域の良さを知ってもらうとともに、地域活性化につなげていくことを目的として、地元の農水産物を使ったコンテストを開催しました。

応募は11品で、最優秀作品については、地域のまつりで披露となりました。マスコミから多数取材があったため、地区内外に広くPRされ、コンテストの反響は大きかったです。

引き続き地元の農水産物を使った料理を通じて地域を楽しく盛り上げるとともに、地域が活性化するような商品化できる作品が創作されることを期待しています。



■ 危険箇所等看板設置

地区内の危険箇所を一斉に点検し、ため池など35箇所へ啓発用看板を設置し、注意喚起を図りました。

標語は、「あぶない！！このちかくであそんではいけません」、「あぶない！！ここでつりをしてはいけません」、「車に注意！！」、「危険 スピード落せ！！」の4種類で、自治会長をはじめとした地域住民で考えたものです。

今回、危険箇所の一斉点検は、ため池を中心に行いましたが、今後は他の危険箇所も注意深く点検していきます。



■ 通学路等整備

幼稚園・小中学校の PTA が中心となり、通学路の草刈りやカーブミラーの一斉点検・清掃等、環境整備活動を行いました。

草刈りは、ひと気が少ない通学路で、道路沿いに草が覆い茂っている箇所を重点的に行いました。

カーブミラーについては、破損箇所や反射状況を点検しながらモップ等で清掃をしまし、破損やくすみ等があった場合は、設置している自治会へ状況を説明し、修理依頼を行いました。



【今後の地域づくりに向けた思い・取り組み】

秋穂二島地区連合自治会は、今年度から総務部会、生涯学習部会、健康福祉部会、生活環境部会の専門部会を設立しました。

今後は、部会が中心となって 団体間の意見交換の場を提供することをはじめ、各団体の情報収集や活動内容の精査をすることなど、活発な地域づくり活動を展開し、実践していきます。

今年度の活動をもとに、秋穂二島地区の良さの再発見と、さらに住みよい地域づくりを進めたいと考えています。

嘉川地域

嘉川地域づくり協議会

★活動の概要

嘉川地区では、5つの部会を設け、部会ごとに嘉川の地域づくりに取り組んでいます。

★交付金額

7,955,378円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	7,125人
世帯数	2,790世帯
地域の キャッチフレーズ	調和の取れた地域の発展と、 安心・安全な住みよい嘉川

※数値は、平成23年3月31日現在のもの

■ 登山コース、ハイキングコースの 表示と整備

現地調査により、登山コースの概略を策定した後に、コース上の倒木除去と登山道の一部整備、案内標識の一部設置など、禪定寺山登山コースの整備と表示活動を行いました。

登山道整備が本格的に進められる体制が整い、失われていた登山道を再開する目途が立ちました。



■ 地域産品創出事業

「嘉川でできた米を使って、オリジナルのお酒を造ろう!」と、地元の醸造業者をお願いして、地酒づくりに取り組みました。

米づくりは、地元の田んぼを借り、地域住民の方々が、田植えから稲刈りまですべて実施しました。

できた新酒の銘柄も住民から公募し「嘉穂の郷」と決定し、2月には新酒発表会を開催しました。

地域でできたお酒を沢山の方に味わっていただき、古くから酒造りが栄えていた風土を感じてもらうことができました。



■ 郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備

既存の遺跡・史跡に加えて、新たな遺跡等の発掘を行い、保存資料を作成するとともに、自治会・子ども会の協力を得て現地表示の標識を設置しました。

5ヵ年事業のうち、初年度として45箇所の現地表示を行いました。

多くの自治会では、忘れ去られたり、破壊されかかった史跡の存在に気づかれたようで、事業の趣旨を理解され、子供達を取り込んだ積極的な取り組みが行われました。



■ 生き生きサロン活動の充実

地域住民の助け合い活動のひとつで、住民同士が交流する場所として、自主的な運営がされています。

毎回多くの参加者が楽しみに来られ、今では、すっかり定着していますが、活動内容も充実しており、世話をする人も楽しんでいきます。

サロン間の交流から自分達のサロンの活動を見直すことができ、いっそうの充実を目指す手がかりとなったようです。



【今後の地域づくりに向けた思い・取り組み】

今後、更に新しい課題や地域住民が意欲をもって取り組める創造性のある課題を求めながら、地域づくりを展開できる企画を進めるよう努めていきます。

佐山地域

佐山地区地域づくり協議会

★活動の概要

佐山地区は、自主防災活動・訓練に力を入れるとともに、地域福祉活動としてNPO法人「あい・ねっと佐山」を立ち上げました。

★交付金額

6,791,672円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	2,812人
世帯数	997世帯
地域のキャッチフレーズ	住みよい佐山のまちづくり

※数値は、平成23年3月31日現在のもの

■ 自主防災活動・訓練

高潮対策(対象地域5地域)と、土砂災害対策(対象地域4地域)の2つにわけて机上訓練を実施しました。

机上訓練では、要援護者支援に向けて、支援マップの活用打ち合わせを行うとともに、河川増水に備えて備蓄用土嚢づくりも実施しました。

今後も、防災に向けて地域の意識が高まる実働訓練を計画しています。



●参加者が協力しての土嚢づくり



●備蓄用土嚢は、シートをかけて備蓄します



●机上実施訓練の様子

■ 子ども見守り隊の充実

学童の登下校時の安全確保のため、子ども見守り活動・交通安全の立哨等の更なる充実を図りました。

併せて見守りグッズの充実も図りました。

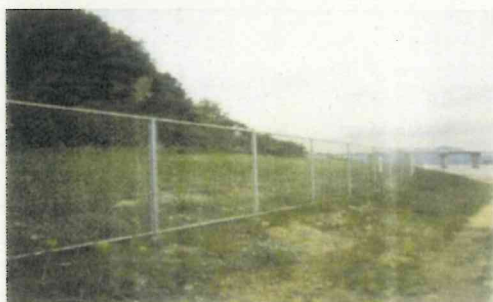


●顔合わせの会の様子(写真上・下)

■ 防護フェンスを設置

新地海岸線と藤尾山との間にゴミの不法投棄が多く、住民を悩ませていたので、環境美化、防犯対策、安全対策を目的に防護フェンスを張り巡らせました。

今では、不法投棄もなくなり、住民から喜ばれています。



●設置した防護フェンス

■ あい・ねっと佐山の立上げ

平成23年2月27日に、NPO法人「あい・ねっと佐山」の登記が完了(立ち上げ)しました。

活動内容は、地域住民のニーズに応じて、小学生を対象とした学童保育サポート事業(学童クラブ)などで、平成23年4月1日からスタートします。

具体的な活動として、小学4年生から6年生までの児童を中心に、放課後の預かり事業の実施を予定しています。



●学童保育サポート事業を予定しています

小郡地域

おごおり地域づくり協議会



★活動目標

「ふれあい」「生きがい」「支えあい」で心豊かに暮らせるまちを目指して活動しています。

★地域の情報(連合町内会単位)

地区人口	24, 287人
世帯数	10, 462世帯
地域の キャッチフレーズ	みんなが笑顔でくらす るまち

★交付金額

10, 250, 000円

※数値は、平成23年3月31日現在のもの

■ 総務部会の活動

- ・ 情報誌の発行 年間11回
- ・ アンケート調査 1, 000件
- ・ 地域懇談会 6か所
- ・ 研修・勉強会 3回
- ・ 地域づくり計画策定
- ・ リーフレット作成 他

情報誌おごおり



■ 健康福祉部会の活動

- ・ 子育て支援(小郡ぼっぼとの共催)
- ・ 異世代交流(戦争体験談・料理教室)
- ・ 高齢者生きがい(生きがい支援)
- ・ 健康づくり(ころげん体操) 他



異世代交流

地域懇談会



■ 生活環境部会の活動

- ・ 道路・河川美化整備等清掃活動 年5回
- ・ 交通安全アンケートと危険箇所調査
- ・ 小学校区ごとの安全マップ作成
- ・ LED 防犯灯設置(小郡全地区) 他



安全マップ



清掃活動

■ 文化体育部会の活動

- ・ ふるさと塾 年3回
- ・ ふるさと再発見ウォーキング
- ・ ふるさと小郡たずねある記100選発行
- ・ こども昭和塾
- ・ 青少年健全育成 他



ふるさと再発見ウォーキング



ふるさと探訪マップ

～平成22年度を振り返って～

アンケート調査や地域懇談会等を通して、地域住民の意思を反映させる仕組みづくりや、地域課題の洗い出しを行いました。これをもとに、地域づくり計画を策定するとともに、地域のニーズや、課題に住民・行政とともに協働で取り組みました。

毎月情報誌を発行し、情報の共有化を図るとともに、高齢者の生きがいづくりや健康づくり、子育て支援・青少年健全育成などの活動を積極的に推進しました。また、住民が安全で安心して生活できるまちを目指し、防犯・防災・交通安全活動や自然に恵まれた美しい小郡の環境づくりを推進しました。

地域のニーズや課題の解決に向けた取り組みにより、幅広く地域に貢献できたものと思います。

平成23年度は、構成団体(会員)を増やし、協働のまちづくりを加速し、推進していきます。

〈構成団体〉

・小郡区域区長協議会・小郡婦人会・老人クラブ連合会小郡支部・子ども会育成連絡協議会小郡支部・社会福祉協議会小郡支部・おごおり文化協会・体育協会小郡支部・小郡地区民政委員児童委員協議会・小郡女性団体連絡協議会・おごおりライフネット・小郡ボランティア連絡協議会・食生活改善推進協議会小郡支部

秋穂地域

たのSEA秋穂づくり協議会

★活動の概要

『たのSEA秋穂づくり協議会』は、32自治会と42団体で組織し、地域振興、地域福祉、安心安全、管理づくり、地域個性創出の5つの柱で事業を展開しています。

★交付金額

12,548,857円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	7,435人
世帯数	2,988世帯
地域の キャッチフレーズ	青い海 愛する秋穂 海老のまち

※数値は、平成23年3月31日現在のもの

■ 地域振興

【広報活動】

協議会で実施した様々な活動を、毎月、『みんなの地域情報紙あいお』に掲載するとともに、活動報告誌を年1回発行しました。

また、23年3月に協議会のホームページを立ち上げ、秋穂地域の新鮮な情報を随時発信しています。

<http://www.tanosea-aio.jp/>



■ 環境づくり

【草山整備事業】

『育てよう草山プロジェクト』と名付けて、整備検討委員会を7回開催し、公募による地域のボランティアの皆さんと、専門家とで、伐採・草刈りといった環境整備を行いました。地域資源を大切にするという意識が高まりました。

23年度～24年度は、中期の整備が始まります。

(現在ボランティアを含め検討委員28名)



■ 地域振興

【鹿児島『やねだん』視察研修 地域づくりリーダー育成事業】

8/25～26日、鹿児島県鹿屋市柳谷町内会と薩摩川内市大馬越地区コミュニティ協議会へ視察に行きました。

特色あるまちづくりを行うこれらの地域は、外から多くの人々が訪れ、特産品や芸術作品等を買って帰ってもらうことで収益を上げていく地域自治のあり方と、地域に対する誇りと自信を高めていくすばらしい仕組みを学びました。

今後、本協議会においても、秋穂の特産品の開発や地域の特色ある取り組みに活かし、がんばっていきたいと考えています。



柳谷町内会



大馬越地区

■ 地域福祉

【若者の地域おこし活動支援】

地域が元気になるよう、また将来の地域のまちづくりを背負って立てるよう、高校生の『あいお盛り上げ隊ジュニア(10人)』を結成しました。

あいお祭りの会場の手伝いをはじめ、生涯学習フェスティバルで世界各国のファッションショーで活動するなど、新しい取り組みができました。



【今後の地域づくりに向けた思い・取り組み】

若者たちがまちづくりにもっと関心を持ち、協力体制をより充実したものにしていきたいと思います。

そのためにも、「あいお盛り上げ隊ジュニア」の充実に力を入れたいと思います。

阿知須地域

阿知須地域づくり協議会

★活動の概要

平成22年4月3日の設立以降、まずは「地域づくり協議会」を知ってもらうように広報活動と、単位自治会の活性化を図ることを重点的な活動として取り組んでいます。

★交付金額

9,789,521円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	9,305人
世帯数	3,620世帯
地域のキャッチフレーズ	「心豊かな元気で住みよい阿知須づくり」

※数値は、平成23年3月31日現在のもの



■ 地域振興事業 広報活動

阿知須地域づくり協議会だよりを毎月1回発行しています。

地域づくりの活動内容(事業等)への理解、協力を得ることができ、地域の幅広い年齢層に情報を発信することができました。

今後も、より多くの地域住民に情報提供できるよう活動していきます。



新しい時代は、地域の新しい活力を求め、地域づくりの活動に取り組んでいます。阿知須地域づくり協議会では、地域住民の参加を促すため、毎月1回発行している「阿知須地域づくり協議会だより」を、地域住民の手に届けることを目指しています。この「だより」には、地域の活動内容や、地域住民の意見などを掲載しています。また、地域の活性化を図るため、地域住民の参加を促すための活動を行っています。阿知須地域づくり協議会では、地域住民の参加を促すため、毎月1回発行している「阿知須地域づくり協議会だより」を、地域住民の手に届けることを目指しています。この「だより」には、地域の活動内容や、地域住民の意見などを掲載しています。また、地域の活性化を図るため、地域住民の参加を促すための活動を行っています。

■ 単位自治会等生涯学習団体支援

地区交流会開催

単位自治会公民館活動と文化継承の伝統芸能の発表の場として、地区交流会を開催しました。

他地区との交流を持つことにより、地区の活性化につながるとともに、地域全体に文化継承を広めることができました。



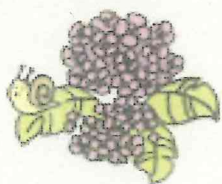
■ 健康づくり支援事業

自治会では、地域の高齢者の健康維持のために、県・市の指導による「ころげん体操」を推奨し、定期的な開催をしています。



■ 道路環境美化事業

生活の主なる道路等環境づくりをして、通学路、生活道路等安全性が高まった。今後も積極的に美化活動をし、住みよい、安心、安全な地域にしていきたいです。



■ 自主防災組織立ち上げ・訓練

単位自治会で防災組織を立ち上げてもらい、自主防災の意識を向上させる活動をしています。

防災訓練を実施し、自治会の役割分担を確認しました。



■ 阿知須浦まつり



阿知須の地域に明治11年から続く伝統行事の一つです。

阿知須の伝統文化継承として地域活性化に大いにつながっています。

